

# 電線材料カンパニー事業戦略

日立金属 IR Day 2016

2016年6月3日

日立金属株式会社

執行役 電線材料カンパニープレジデント

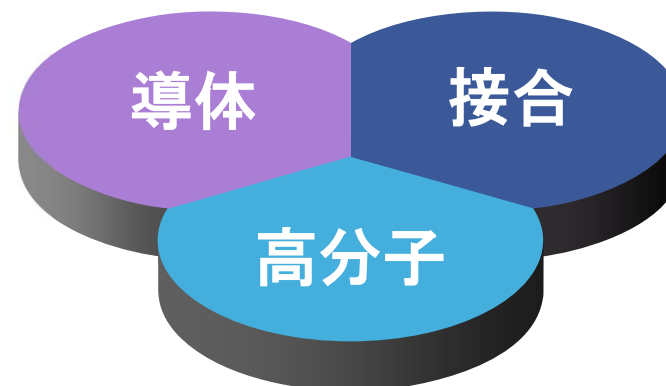
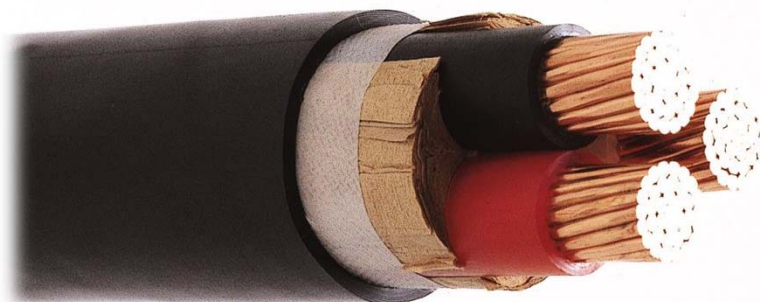
村上 和也

# 電線材料カンパニー事業戦略

## [目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. 成長戦略・アクションプラン
4. まとめ

## 電線材料のコアコンピタンス



### 産業インフラ

安全で効率の高い  
インフラの構築に貢献



鉄道車両用電線

### エレクトロニクス

機器の利便性や  
小型化の実現に貢献



医療機器用電線

### 自動車

安全・安心な  
車社会の構築に貢献



EPB用ハーネス

## 鉄道・医療・電装部品を柱に拡大をめざす

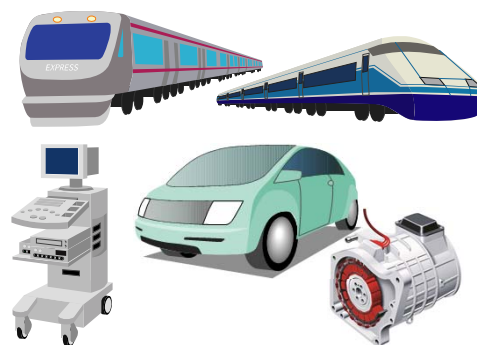
### 基盤製品

- 主な製品群
- 建設電販
  - 汎用機器電線
  - 汎用巻線
  - 工業用ゴム



### 成長分野

- 主な製品群
- 鉄道車両用電線
  - 医療機器用電線
  - 自動車電装部品



情報システムほか

- イーサネットスイッチなど

電線材料  
セグメント

2015年度  
売上収益  
2,882億円

# 電線材料カンパニー事業戦略

## [目次]

1. 事業概要
- 2. 市場環境**
3. 成長戦略・アクションプラン
4. まとめ

## 2. 市場環境

高速鉄道	世界各国で建設計画あり、この先20年は、年平均で約3%の成長
医療機器	高齢化や医療の高度化に伴い、年平均で約5%の成長
自動車	軽量化、低燃費を実現する材料・技術へのニーズ拡大

		2010年	2015年	2020年
高速鉄道計画		・中国CRH	・英国IEP	・米国南部 ・インド西部 ・米国西部
医療機器			・診断画像の高精細化 ・治療・診断の高度化	・再生医療
自動車	CO <sub>2</sub> 排出規制	欧州規制	・130g/km	・95g/km
	燃費測定規格	個別規格(JC08/NEDC等)		世界統一規格へ(WLTC)
電線への要求	鉄道用電線	・EN規格対応	・ノンハロ細径化	・超軽量電線
	医療用電線	・高導電・高強度電線 ・高密度(細径・光配線)		・多機能型ケーブル
	電装部品	・軽量化 (アルミ導体)		・高耐熱用途 (エンジン周辺環境)

出典：各国・地域規制当局の発行資料、各種市場調査資料を参考に当社推定

CRH:China Railway High-speed、IEP:Inter-city Express Programme、

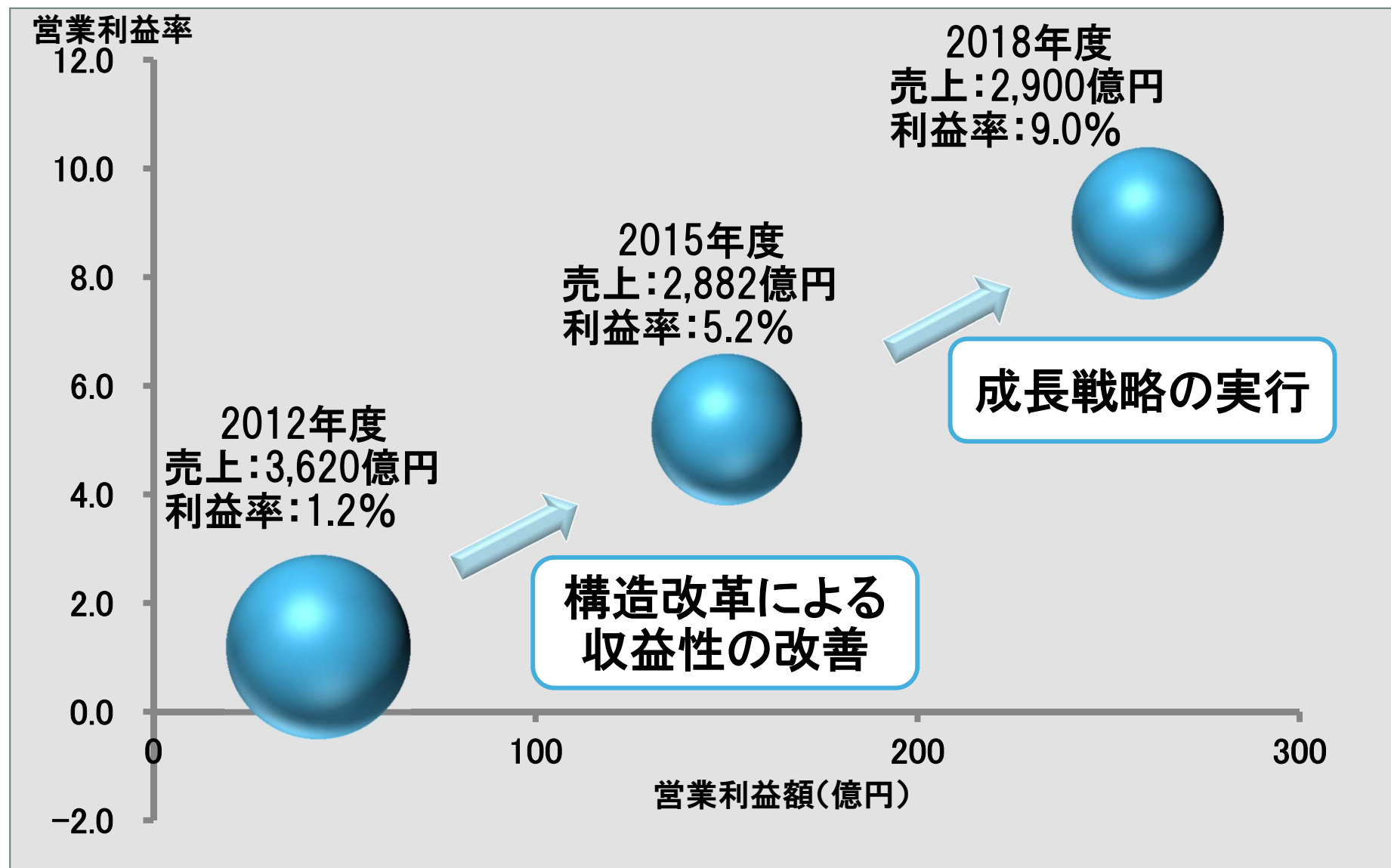
NEDC:New European Driving Cycle、WLTC:Worldwide harmonized Light duty driving Test Cycle

# 電線材料カンパニー事業戦略

## [目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. **成長戦略・アクションプラン**
4. まとめ

### 3-1.収益性の改善実績と計画(2012年度⇒2018年度)



※2012年度は日本基準、2015年度、2018年度はIFRS基準  
※球体の大きさ:売上規模



### ■電線材料カンパニー基本方針と成長戦略

#### 高収益体質への変革と真のグローバル成長への挑戦

- グローバル成長戦略の実行
- 事業ポートフォリオ改革による利益体質強化
- 製造プロセス革新によるモノづくり力の強化

### ■2018中期経営計画 目標

	2015年度 実績 (為替レート 1\$=120円)	2018年度 目標 (為替レート 1\$=115円)	15年対比 増減
売上収益	2,882億円	2,900億円	101%
調整後営業利益	150億円	260億円	+110億円
調整後営業利益率	5.2%	9.0%	+3.8%
海外売上比率	32%	38%	+6%

## ■主要なアクションプラン

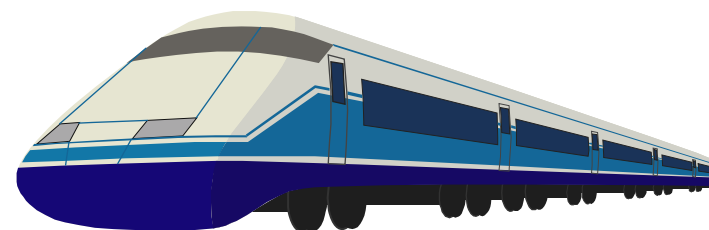
成長分野	鉄道	中国・欧州市場での事業拡大
	医療	新医療分野への参入、事業領域拡大
	電装部品	グローバル生産・供給体制の強化
基盤製品		製造プロセス革新による競争力強化
		構造改革の断行

## 3-4. 鉄道：中国・欧州市場での事業拡大①

### ■中国車両メーカー向けシェアの拡大

中国：第12期 全国人民代表大会

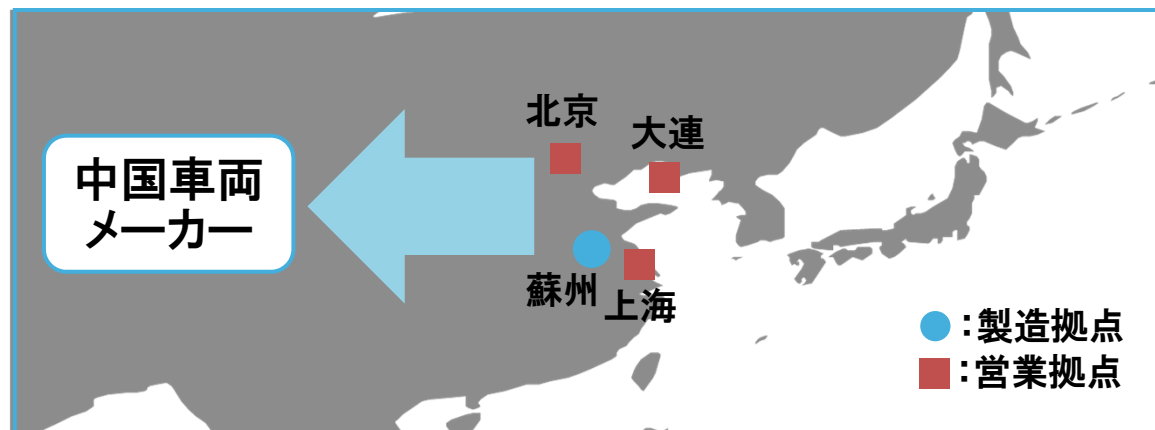
■第13次5カ年計画(2016～2020年)  
鉄道投資総額：3兆8,000億元  
高速鉄道路線：総延長2万km⇒3万km



#### ソリューション営業強化

#### 中国生産能力増強

#### 新製品投入



#### シリコン端末



#### 細径特高圧ケーブル



細径・軽量・長寿命化に貢献

### ■欧州市場向け供給網の強化



ハーネス供給拠点新設  
(2016年上期)

拠点立上・英国IEP向け実績

欧州鉄道車両メーカーへの参入

鉄道分野 売上目標  
90億円(2015年度) ⇒ 140億円(2018年度)

### 3-6. 医療：新医療分野への参入、事業領域拡大

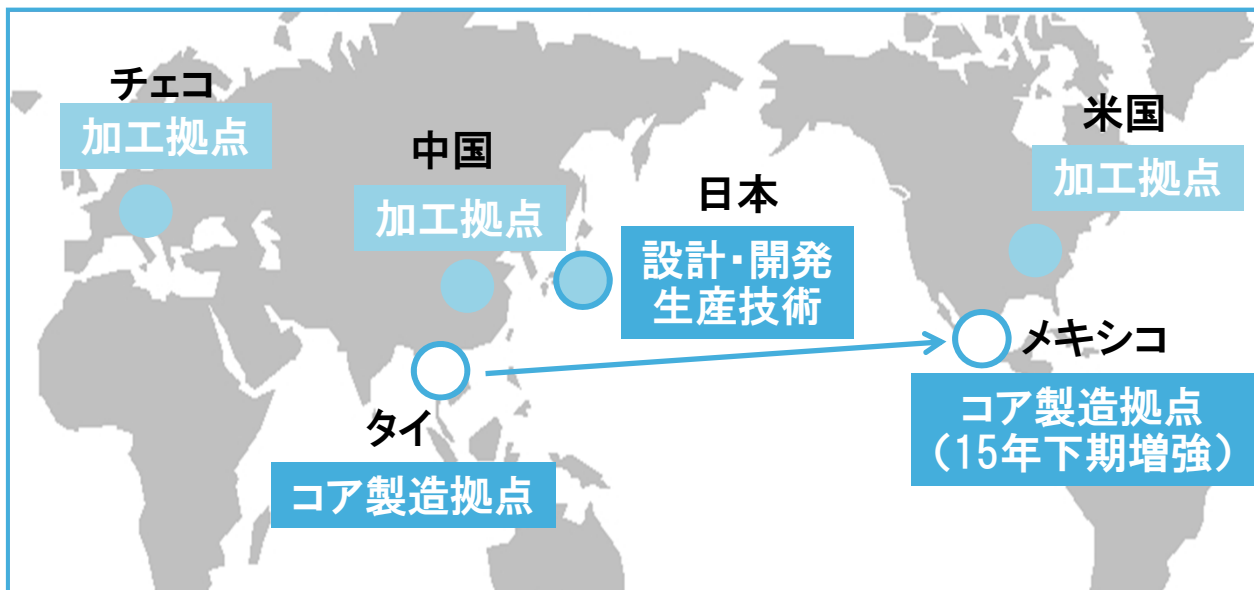
#### ■HTP-Meds社(米国新子会社)とのシナジー創出

	顧客基盤	技術基盤
日立金属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル大手機器メーカー</li> <li>・日系機器メーカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブリング技術・伝送技術</li> <li>・素材開発力</li> <li>・量産規模での生産力</li> </ul>
HTP-Meds	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル医療専門メーカー</li> <li>・米系医療専門メーカー</li> <li>・医療分野での認証・認定保有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療チューブ成形・加工技術</li> <li>・スピーディーな開発力</li> </ul>



**医療分野 売上目標**  
**75億円(2015年度) ⇒ 110億円(2018年度)**

## ■成長市場の供給体制強化



メキシコ拠点の強化

米州事業の強化・拡大

電装部品主力製品



EPB用ハーネス



磁界センサ

## ■新製品創出による事業領域の拡大

低燃費・安全性要求に  
マッチした各種開発

- ・ばね下センサ複合EPB用ハーネス(WSS他との一体化)
- ・新規磁界センサ(ターボ、エンジン・パワートレイン制御用 他)

自動車電装部品 売上目標  
280億円(2015年度) ⇒ 340億円(2018年度)

### ■投資計画

#### 成長投資

- M&Aも視野に入れた鉄道分野の強化
- 鉄道・医療用電線の中国製造拠点の増強
- 自動車電装部品のメキシコ拠点強化

#### 基盤強化

- 革新的電線製造ラインの導入(2016年度上期稼働予定)
- 新型連続鋳造圧延ラインの導入(2018年4月稼働予定)

設備投資額: 390億円(2016年度～2018年度累計)

# 3-9. 革新的電線製造ラインの導入

## 電線・ケーブル製造工程イメージ

伸線

撚線

押出  
(絶縁被覆)

撚合

編組

押出  
(シース被覆)

中国最大工場



中国蘇州拠点に導入  
(2016年度上期稼働予定)

## 新架橋方式

リードタイム短縮

品質向上

適用製品



鉄道車両用電線



産業用ケーブル



## 新型連続鑄造圧延ライン

エネルギー効率・生産性の改善

新プロセスの導入

製品競争力の強化



汎用電線



鉄道用電線



医療用電線



電装用巻線

新銅合金(HiFC<sup>®</sup>)  
の量産化

柔軟性

耐水素脆化特性

導電性

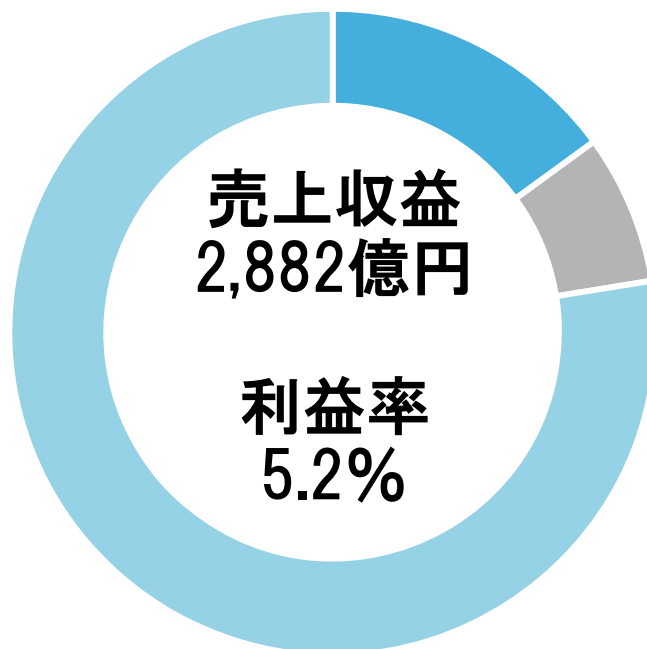
溶接性

高収益体質の実現・高付加価値製品の開発

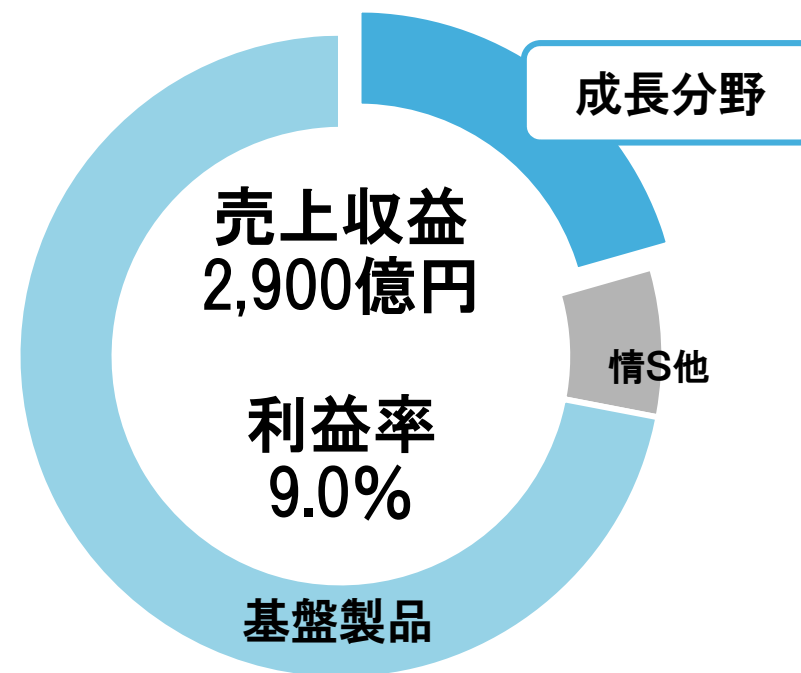
### 3-11. 事業ポートフォリオの改革(2018年度)

成長分野でのさらなる事業拡大と基盤製品の収益力強化

2015年度



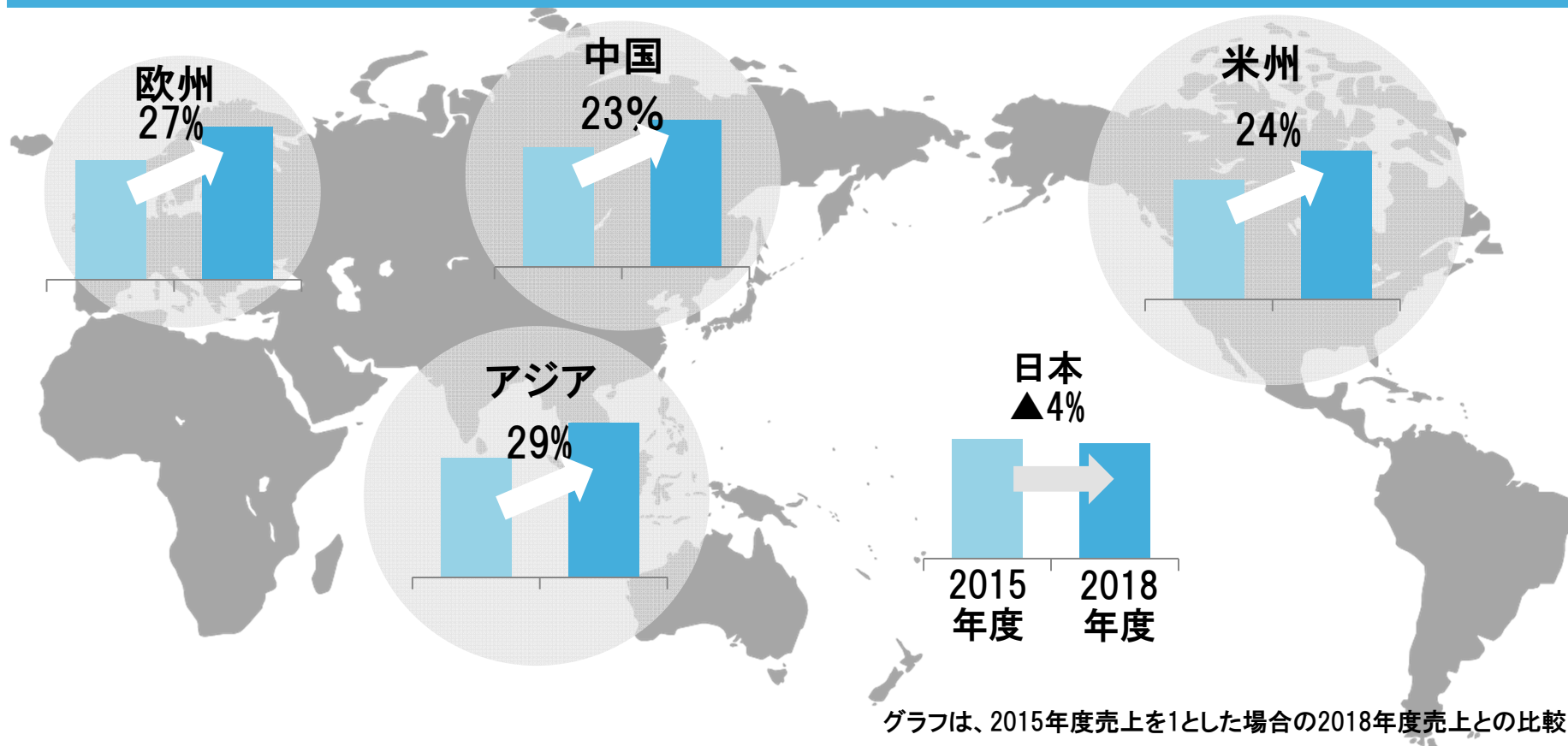
2018年度



電線材料分野として世界トップクラスの高収益事業体へ

## 3-12. 地域別売上推移

### 米州・中国・アジアを中心に成長分野で拡大を図る



海外売上比率: 32% (2015年度) ⇒ 38% (2018年度)

2015年度の海外売上比率は、事業構造改革の影響を反映した値

# 電線材料カンパニー事業戦略

## [目次]

1. 事業概要
2. 市場環境
3. 成長戦略・アクションプラン
4. まとめ

# 高収益体質への変革と 真のグローバル成長への挑戦

## 電線材料カンパニー 2018年度 計画

売上収益: 2,900億円  
調整後営業利益: 260億円 (9.0%)

# 将来の見通しに関するリスク情報

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動



Materials Mag!c  
日立金属